

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

平成29年 4月 5日

市川市長 殿

団体名 NES (Natural Eco-Life Support)
自然環境にやさしい活動を広める会
(団体番号 52)
代表者名 北 村 豊 榮
所在地 市川市関ヶ島7-15

平成28年8月12日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	15,483	円
(2) 補助対象経費総額	15,000	円
(3) 補助金交付決定額	7,500	円
(4) 補助金交付概算払額	7,500	円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	自然環境にやさしい活動の啓発・実践事業
補助決定事業の実施内容 (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	年間を通じてほぼ予定通りに実施できた。 市川市の環境関係イベントに参加2回 平成28年6月5日(日)市川環境フェア参加 多くの来場者が見学に見えた。 平成29年1月12日 エコギャラリー開催参加 延べ約400名の参加 年度を通じて市内各所からキャップの回収を実施した。
広報の実施状況 (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	広報・啓発活動として、市川市の環境イベントに参加、パネル写真等で、市民を対象に3R、家庭発生ごみの減量化、ペットボトルキャップの回収リサイクルの現状を紹介した。
補助決定事業の成果 (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 エコギャラリー、環境フェア等イベントを通じて、写真パネル、プリンターデータパネル等による環境啓発、ごみ等の問題を市民に周知することが出来た。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策 (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ゴミの処理にかかる一般市民の、3Rに対する意識がひくく感じられる。工場等での家電リサイクル状況の見学等では、活発であるが一般家庭の消費財の活用について行政を含めて啓発活動がより必要に感じられる。

市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称：自然環境にやさしい活動の啓発・実践事業

1【収入】

項目	金額	説明（積算等）
事業収入		
寄附金収入	0	
補助金収入	7,500	
その他 （助成金等）	0	
会費充当	7,983	団体の本会計より充当
合計	15,483	

2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明（積算等）
報償費	0	0	外部講師等の招へい あり/なし
交通費	3,300	3,000	
消耗品費	6,069	6,000	インク、文房具等
印刷製本費	2,000	2,000	コピー代
通信運搬費	0	0	
保険料	0	0	
使用料及び賃借料	0	0	
原材料費	4,114	4,000	
合計	15,483	15,000	

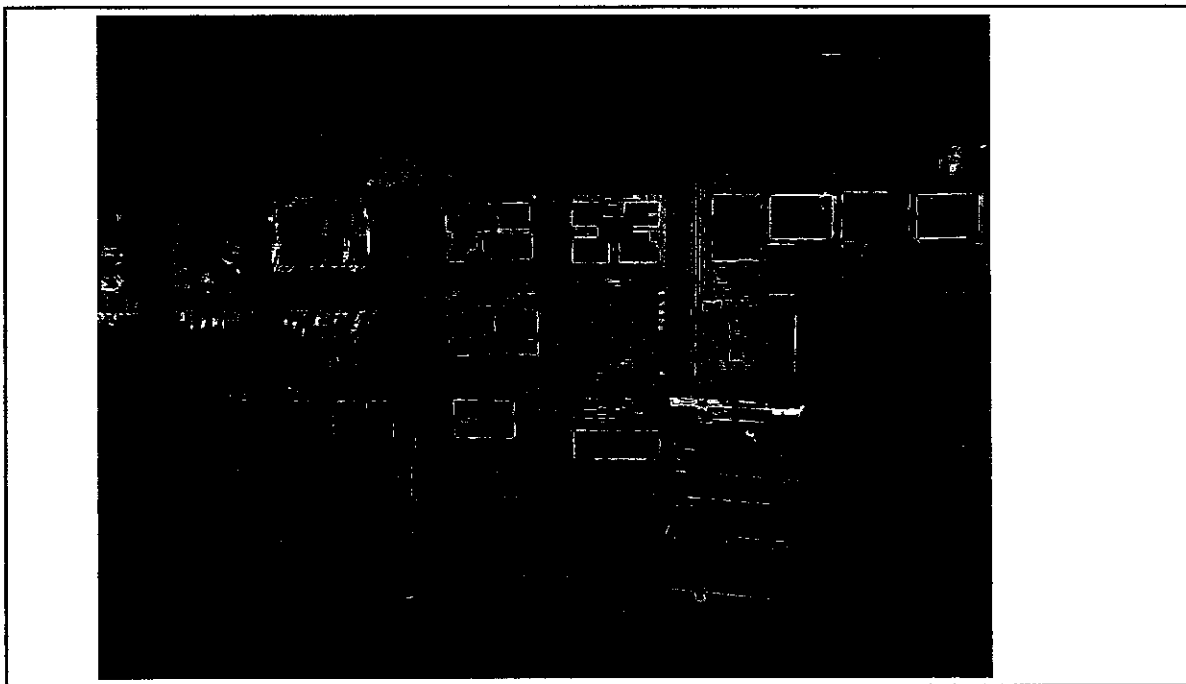
※ 領収書（原本）を添付してください。

(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : エコギャラリー (於メディアセンターホール)

撮影年月日: 平成29年1月17日



タイトル : 年間を通じて実施している事業展示

撮影年月日: 作成平成28年4月～平成29年3月

